



Waffle Annual Report 2023-2024

NPO 法人 Waffle
年次報告書 2023-2024



ご挨拶

2023年度もWaffleの活動を支えてくださり、誠にありがとうございます。皆さまの温かいご支援のおかげで、Waffleの活動はさらに拡大しました。

教育事業においては、中高生向けのWaffle Campは全国17都市で開催し、合計177名の参加を得ました。各自治体からは、次年度以降も継続して開催したいという声が多数寄せられています。

Technovation Girlsは、念願であった全国47都道府県から409名がエントリーし、7チームが世界大会のセミファイナルに選ばれるなど、大きな成果を挙げました。

IT未経験の大学生向けプログラミング学習コミュニティであるWaffle Collegeには100名が参加し、インターンシップや課外活動などに積極的に取り組んでいます。修了生の中には、Waffle Campのメンターをつとめてくれる学生がでてくるなど、まさにテックコミュニティとしての役割が果たしていることを非常に嬉しく思います。

また、これらの教育事業に加え、社会構造の改善を目指し、骨太の方針をはじめとする政策提言にも積極的に取り組んでいます。

これからもWaffleは、チームやさまざまなステークホルダーとの連携を強化し、より大きな社会的インパクトを生み出せるよう、全力を尽くしてまいります。

私たちが活動を続けていけるのは、日々応援いただいている企業や連携団体の皆さん、寄付をはじめとする応援していただいている皆さんのおかげです。心より感謝申し上げます。

今後も、ITにおけるジェンダーギャップ解消を目指し、皆さんとともに課題解決に取り組んでいけることを心から願っています。



NPO法人Waffle 理事長
田中 沙弥果

Mission 私たちの使命

Unlock women's potential and make an impact in the world together with them.

女性の可能性を解き放ち、ともに世界に影響を与える

Vision 目指す姿

Close the gender gap by empowering and educating women in the technology field.

テクノロジー分野の教育とエンパワーメントを通じ、ジェンダーギャップを是正する

Waffleの由来

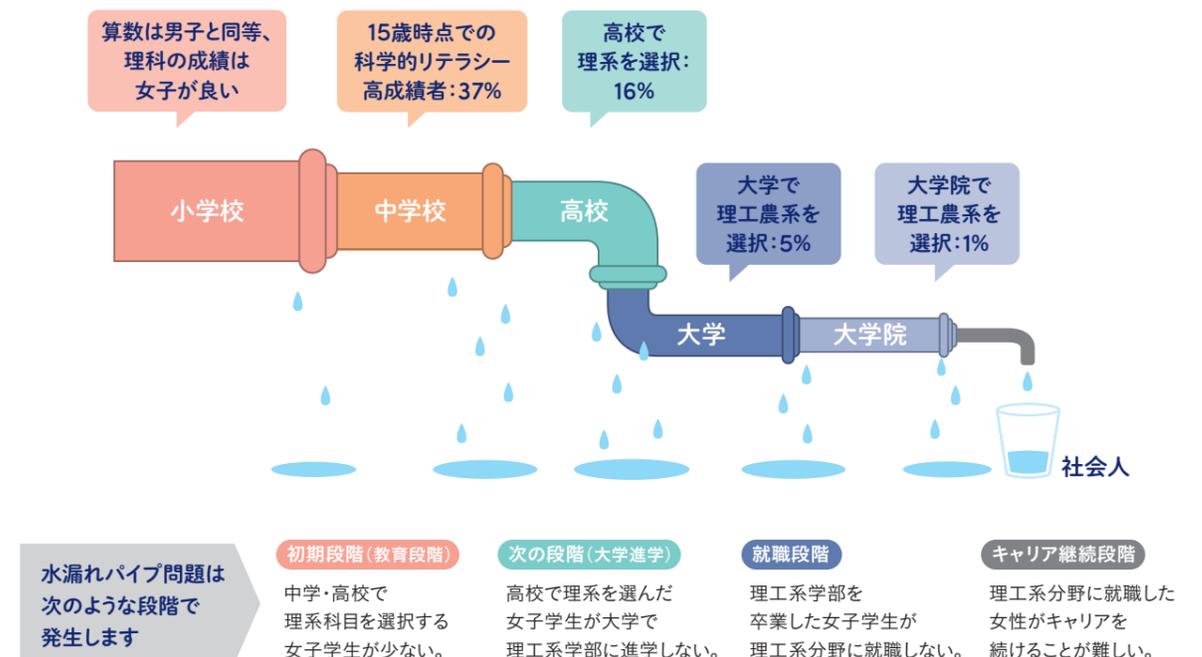
Women AFFection Logical Empowerment

愛情深く、そして論理的に女性をエンパワーメントしたい。難しく捉えられがちなテクノロジーを、お菓子のワッフルのようにポップに。そのような想いでWaffleと名付けました。

教育とエンパワメントを通じて IT分野の ジェンダーギャップを解消する

女子の理工系進路 水漏れパイプ問題

CHALLENGE



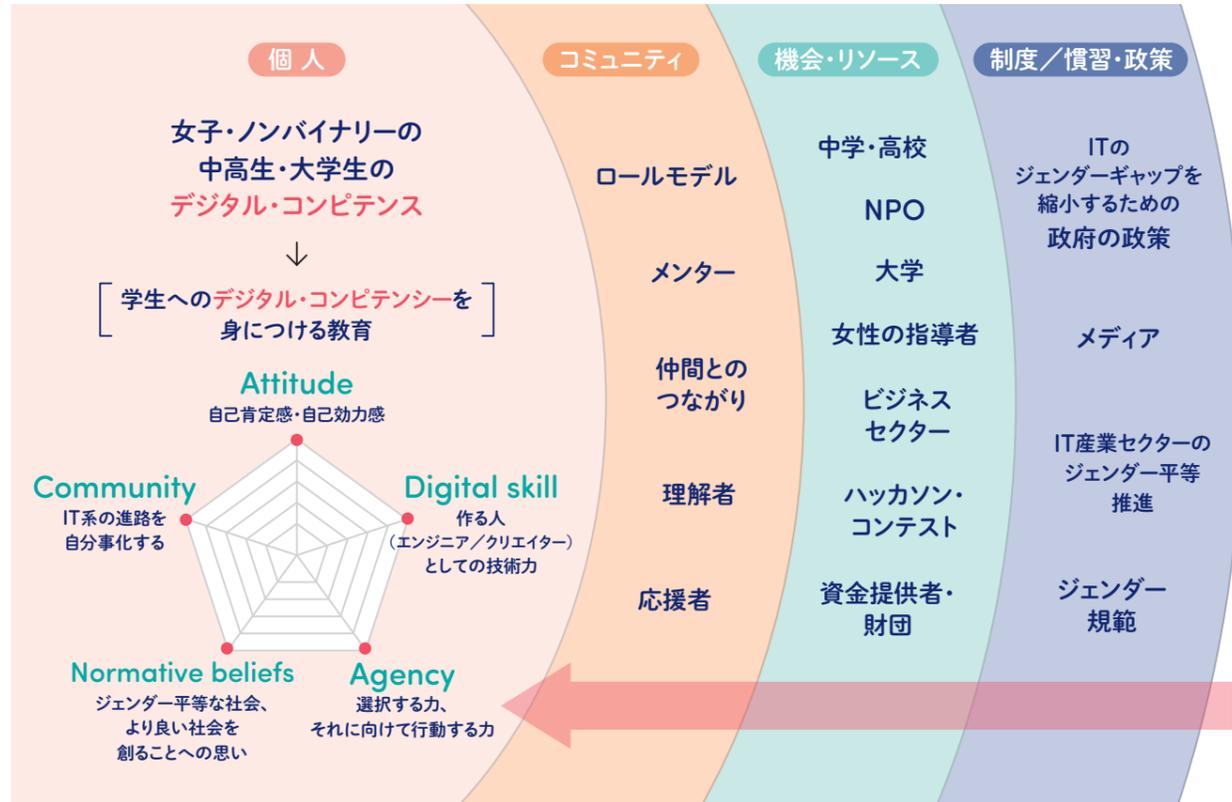
出典:PISA(2018)、TIMSS(2019)、内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局の資料をもとにWaffle作成

日本は、OECD(経済協力開発機構)加盟国の中で、理工系学部に進学する女性の割合が最も低い国です。理工系分野における女性が進学や就職、キャリア形成の各段階で徐々に減少していくこの現象は「水漏れパイプ問題」と呼ばれます。パイプに流れ込んだ水が途中の穴で漏れ出し、最終的に目的地に届く水がほとんどなくなる様子に例えた名前です。日本の女子学生の学力は国際学習到達度調査「PISA」でトップレベルであるにもかかわらず、工学分野の大学入学者に占める女子の割合はOECD加盟国の中で最下位です。これは、理工系

分野を進路やキャリアとして選びにくい社会構造が原因です。私たちは理工系に進む女性が増えるよう、デジタル・IT分野の学習機会を提供しています。AIの導入やデジタルトランスフォーメーションが進む現代社会において、この分野に女性をはじめとした多様な人材が参入することは非常に重要です。比較的高収入で、男女の賃金格差が少なく、リモートワークなど柔軟な働き方ができる分野に、より多くの女性とノンバイナリーが参入することで、経済的なエンパワメントを促進し、IT産業の多様性にも寄与すると考えられます。

全てのステークホルダーに アプローチをすることで 社会全体の構造を変える

HOW WE CHANGE?



What We Do

- 個人** デジタルコンピテンシーを身につける教育
- コミュニティ** IT技術を学ぶ女性やノンバイナリーを応援するコミュニティの形成
- 機会・リソース** 他組織でのジェンダーに配慮した機会提供への働きかけ
- 制度／慣習・政策** 政策の優先度をあげるための政策提言、世論形成

個人

ジェンダーギャップが深刻な日本社会において、学生たちがデジタル社会に平等に参加できるように、プログラミング技術だけでなく、5つの要素を兼ね備えたデジタル・コンピテンシーを育む教育を提供する。

コミュニティ

女性やノンバイナリーでプログラミングに興味がある仲間やロールモデルに出会える場所の創出を行う。また、IT分野を学ぶことを後押しする先生・企業・保護者を増やすことで、学生が自信を持って理工系を選択できるようにする。

機会・リソース

Waffleだけではなく、他の企業や教育現場でジェンダーに配慮した教育や機会・リソース提供が行われるように連携・協力をする。

制度／慣習・政策

「骨太の方針」などに女性の理工系進路選択の予算増加を目指した提言を行うと同時に、IT/STEM分野のジェンダーギャップが大きな社会課題であるという認識をつくるための世論形成を行う。

女

子やノンバイナリーの中高生・大学生たちが自身の可能性を解き放ち、情報工学・IT分野を選択するためには、個人の働きかけのみならず、社会構造の変革が必要です。したがって私たちは中高生・大学生への学生個人へ教育を通じたエンパワメントを行うとともに、生徒・学生を取り巻く社会的・経済的なシステム全体を変える戦略を持つことで、IT分野

のジェンダーギャップに根本から変化を起こすことを目指しています。そのために私たちは4つのステークホルダーに対し、それぞれ働きかけを行っています。個人への教育、それを応援する大人のコミュニティ形成、他組織への啓発、そして政府への提言です。これらを同時に働きかけることで社会全体のシステムを変えていきます。

Waffleの教育プログラム

EDUCATION PROGRAM

Waffleが教育事業で 大事にしていること

私たちは、社会全体の仕組み・構造を変えるために、マルチセクターへの働きかけを同時並行で行う中で、以下の3つの点を大事にして教育事業を展開しています。

Outreach

地方の学生に情報と機会を届ける

- IT・デジタル産業は東京に一極集中しているため、首都圏以外の学生が当該分野で働く技術者に会ったり、教育プログラムに参加したりする機会が限られています。
- そこで私たちは、首都圏だけでなく地方の学生にも機会を提供するために、地方自治体とのイベント共催や、地域の方との連携で、日本中の中高生・大学生へ参加を促しています。さらに、遠方にて行われるイベントに参加する学生への交通費の負担や、パソコンの貸与、現地とオンラインのハイブリッドでプログラムなどを提供することで、全国の幅広い層の中高生・大学生に機会を届けています。

Skill

高度デジタル人材教育をすることで
経済的エンパワメントを目指す

- IT・デジタル産業は他の産業に比べて男女の賃金格差が小さい分野です。さらに、IT技術職は高収入であり、働き方を選びやすい職種でもあります。
- そこで私たちは、中高生の進路選択の時期から介入し、情報工学をはじめとするIT分野を大学等で学ぶ女子やノンバイナリーの学生を増やすことを目指しています。また、大学生にはITプロダクトの作成やデザインに携わるための高度なデジタルスキルを獲得できるプログラムを提供し、経済的自立とエンパワメントを促進しています。

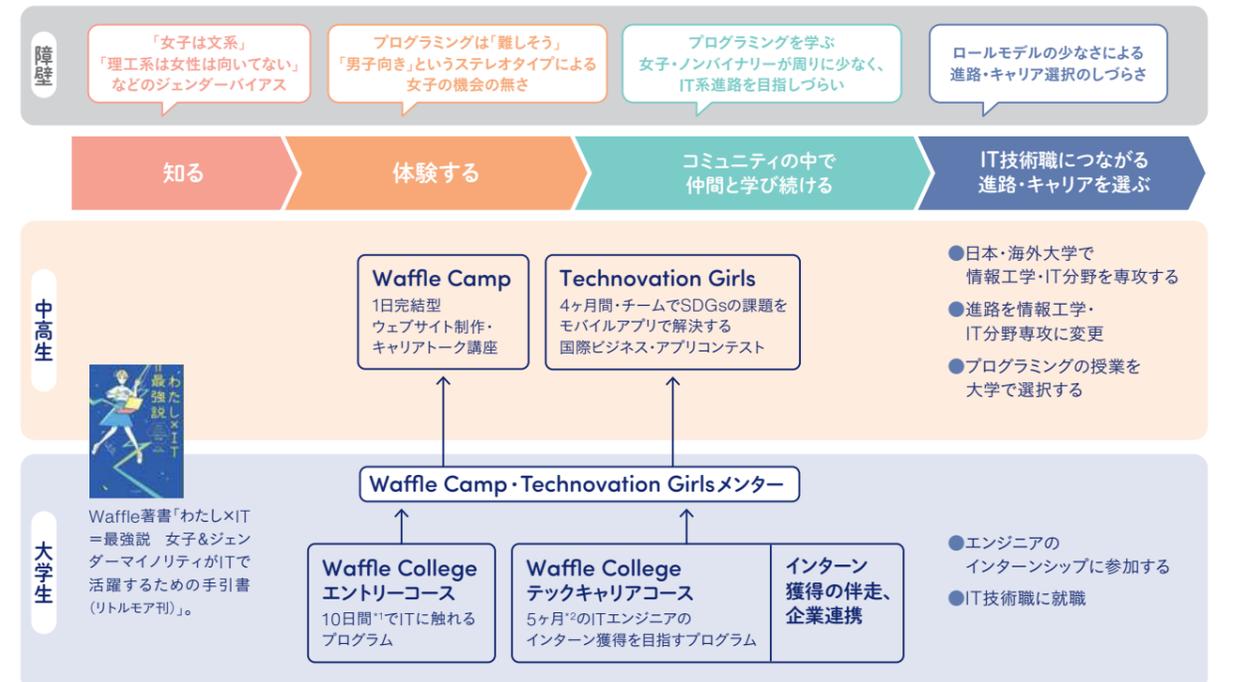
Environment

ジェンダーセンシティブな
学ぶ環境・教材を用意

- ジェンダーセンシティブとは、性別に関する問題や差別に配慮し、対応することを指します。社会構造上、理工系に興味を持ちづらい学生にとって、ジェンダーセンシティブな環境を整えることが重要です。
- そのため、学生に向けて講義やキャリアに関する話をする際には、ジェンダーセンシティブな教育に共感した女性などが講師や審査員を務めるよう配慮しています。これにより、女性技術者や女性役員の露出を高めるとともに、若い世代がロールモデルにたくさん出会う機会を提供しています。

PROGRAM PIPELINE

私たちは中高生から大学生まで幅広い年代の女子とノンバイナリーに対し、ITに興味を持ってもらうところから情報工学やIT専攻、エンジニアになるまでを伴走するプログラムを展開しています。



*1:2023年度は2週間で実施 *2:2023年度は8ヶ月で実施

START!

4月

Waffleの初の書籍が完成!

Waffle初の書籍「わたし×IT＝最強説 女子&ジェンダーマイノリティがITで活躍するための手引書」が全国の書店・図書館などに広まる。



2023年度のハイライト

Waffleの1年間の活動・成果について、振り返ります。



Technovation Girls 2024 スタート!

全国47都道府県から409名がエントリーし、7チームが世界大会のセミファイナルに選出(詳細はP.8)



YUIみらいプロジェクトスタート

YUIみらいプロジェクトの一環で全国各地でジェンダー、教育に関わる団体を視察

2月

3月

国際女性デーにApple「App Store Today」にて活動が紹介



Waffle College 2期生 修了式

2期テックキャリアコースを修了した受講生が集まり、修了式と成果発表を実施。



12月

“自分の手で進路をデザインする”きっかけになる日。を開催

IT・テクノロジーの面白さや、今後の進路やキャリアの中での活かし方について知るイベントを開催。

1月

Veuve Clicquot Bold Woman Award 2023 ファイナリストに理事長の田中が選出

10月

一般社団法人 World In Youのボードフェロープログラム第3期に参加

9月

Waffle College テックキャリアコース 第2期 スタート

IT技術を本格的に学びたいという意欲的な受講生40名が参加(詳細はP.9)

5月

Waffle College エントリーコース 第2期スタート

IT初心者を対象に80名の受講生を迎えて開催(詳細はP.9)。

6月

Waffle Camp 2023 スタート

全国17都市にて177名の中高生が参加し開催(詳細はP.7)。



みらいRITA「YUIみらいプロジェクト〜ジェンダー視点のあるソーシャルインパクト」に採択

11月

Waffle Club 開催!

Waffle Campの参加者を対象に、事後のフォローアップ講座として開催。

7月

日本政府の骨太の方針 2023に「理工系におけるジェンダーギャップ解消」について明記

Waffle Camp

Waffle Campは、女子&ノンバイナリーの中高生を対象に、ウェブサイト制作を通じて、IT・理系への苦手意識をなくし関心を高めるためのプログラムです。スキルの習得だけでなく、IT業界で働く女性のキャリア講演も組み込んでいるのが特徴です。

〔開催概要〕

開催期間 2023年7月～2024年3月

参加費 無料

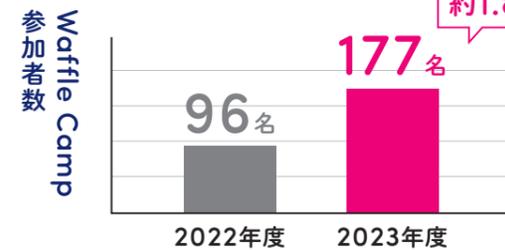
開催都市 全国17都市(北海道札幌市、千葉県、千葉県印西市、神奈川県横浜市、新潟県長岡市、福井県、長野県駒ヶ根市、長野県上伊那地域、京都府京丹後市、兵庫県、兵庫県神戸市、兵庫県豊岡市、徳島県徳島市、福岡県福岡市、長崎県、長崎県長崎市、鹿児島県) ※現地とオンラインのハイブリッド開催は13自治体

参加対象 開催都市に在住・在学の女子およびノンバイナリーの中学生・高校生

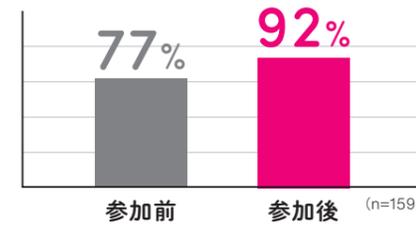
主な内容 HTML/CSSを使ったオリジナルのウェブサイト制作、IT業界で働く女性によるロールモデル講演 他



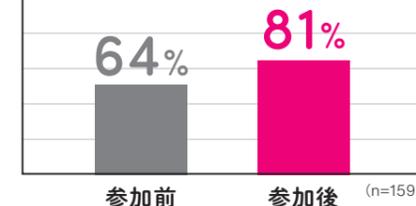
参加者の変化



プログラミングへの興味関心



理系学部や理系関連への興味



参加者の感想

文系(出身)のエンジニアが多いことに驚いた

アドバイスが的確で分かりやすかった

数学が苦手でもエンジニアになれると聞いて驚いた

ITは難しいイメージしかなかったけど、中でもいろいろな人がいて、いろいろな生き方ができると知れてよかった

大学卒業後の進路変更をされる人も多く、やりたいことを学ぶことができた

みんな優しく、困った時にすぐに駆けつけて教えてもらってよかった

2023年度のプログラム総括

- 一部の自治体では、パートナー企業のオフィスにて実施。その結果、実際に働く社会人の方々に身近に感じられ、ITへのキャリアがイメージしやすくなったと考えられます。
- ITや理系の興味の少ない層にどれだけ抵抗感なく参加してもらうかが鍵となる。保護者や学校の先生にプログラムへの理解を深めてもらう働きかけも重要です。保護者や学校関係者向けに事前説明会を開催した自治体(京都府京丹後市・鹿児島県)もあり、今後の参加者促進が期待されます。
- 大学生向けプログラム(エントリーコース)の修了生等から選抜・研修し、49名のメンターが参加。中高生により近い大学生がメンターとして接することで、よりITを身近に感じてもらえるようになったと考えられます。

Waffle Campの模様はこちらの動画からご覧ください



Technovation Girls

Technovation Girlsは、米国・STEM系NPO「Technovation」が主催する、次世代の女性IT起業家の育成を目的とした、世界最大級のテクノロジー教育プログラムです。Waffleは日本公式アンバサダーとして、日本国内からの出場チームの支援を行っています。

【開催概要】

開催期間 2023年12月10日～2024年5月25日
2024年10月に米NPO・TechnovationによるWorld Summitが開催予定

参加費 無料

後援 文部科学省

参加対象 女子およびジェンダーマイノリティ*の中高校生

- 主な内容**
- ・アプリ開発講座（7日間）
 - ・ビジネス開発講座（4日間）
[講師] 株式会社クラフター 創業者兼代表取締役社長 小島 舞子氏
Women's Startup Lab 代表取締役 堀江 愛利氏
 - ・日本公式ピッチイベント
日本独自で開催するピッチイベント。1次審査を経てファイナリスト10組が、2024年5月25日に東京のイベントにて発表。
 - ・海外（2024年はメキシコ）の参加者との交流会
開発中のアプリについてお互いにフィードバックをし合う場を提供。
 - ・進路相談・キャリアイベント
大学生・社会人メンターのトークセッションを通じて、参加者の進路支援となる機会を提供。

*米国・「Technovation Girls 2024」の募集要項に沿って、「Technovation Girls」に興味のあるトランスジェンダーの方はもちろん、ノンバイナリーやジェンダー・ノンコンフォーミングを自認する方で、女性向けの環境で学習したい方を対象としています。



参加者の感想

苦労したことは数えきれないですが、**それよりも成長したことの方が大きく達成感を感じている**

最初は不安だったけど、**運営の方のサポート**でとても充実して過ごすことができた

何もわからない状態から始めた開発だったので**とても自信が ついた**

今回学んだアルゴリズムを他の**プログラミング言語習得に活かしたい**と思う

この挑戦ができたことは自分の自信につながったし、**本当にしんどくて楽しい半年間だった**

2023年度のプログラム総括

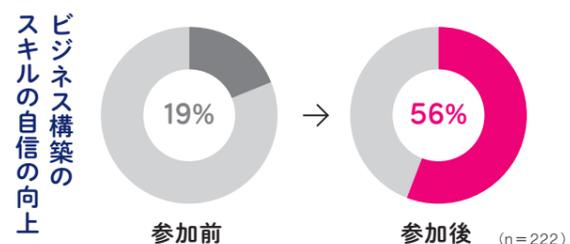
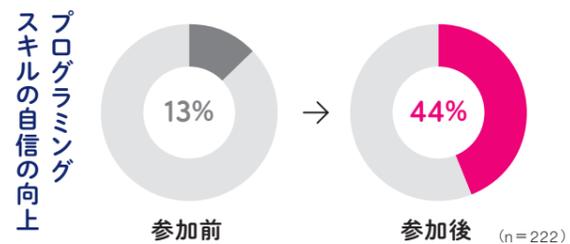
- 参加者数、チーム数、参加者を支援するメンター数など、すべてにおいて過去最多を記録しました。その結果、これまでプログラムを届けられていなかった地域の人たちにも提供することができました。
- 参加者へのアンケート結果から、プログラム終了後、将来の職業ややりたいことが明確になっていることがわかりました。プログラミングに触れる機会だけでなく、ロールモデルやキャリアに関するセッションの機会を増やすことで、さらに多様な選択肢を提示することも重要です。
- また、今後は、参加者が本プログラムで学んだことを、学校や自分の周りに伝えていけるよう、アルムナイ（卒業生）コミュニティの形成にも力を入れていきたいと考えています。

Technovation Girls
日本公式ピッチイベントの様子は
こちらの動画をご覧ください



参加者の変化

参加者数 全国47都道府県から
409名 前年度の約2倍!
85チームがプログラムを完走。うち、7チームが世界大会のセミファイナルに選ばれる。



Waffle College

Waffle Collegeは、主にIT未経験の大学生を対象とした、ITエンジニアを目指すテックコミュニティです。プログラミング初心者向けの「エントリーコース」とIT技術を本格的に学び、IT企業でのインターンシップへの参加を目指す「テックキャリアコース」が用意されています。

【開催概要】

開催期間 エントリーコース：2023年5月～6月（2週間）
テックキャリアコース：2023年8月～2024年3月（8ヶ月）

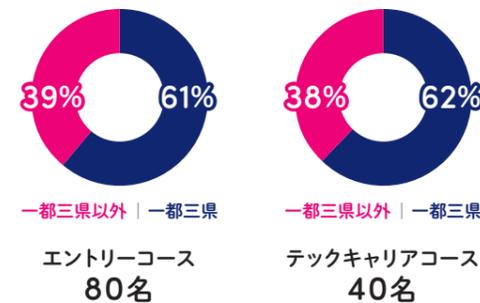
参加費 無料

参加対象 国内外の大学・大学院・短期大学・高等専門学校・専門学校などに在学中の18歳以上の女性またはノンバイナリーの学生

- 主な内容**
- ・**エントリーコース**
ブロックプログラミングツール「Thunkable」を使用したプログラミングの基礎講座、アプリ開発/IT企業への訪問（オフィス見学や女性社員によるパネルディスカッション、交流会等）/ロールモデル講演（未経験からITエンジニアの道に進んだ方々の講演会）
 - ・**テックキャリアコース**
JavaScriptを用いたテキストコーディング、ウェブアプリ開発手法/データ構造やアルゴリズムといったコンピュータサイエンス基礎、コーディングテスト対策/グループで課題に取り組むプロジェクトワーク/卒業ハッカソン

参加者の変化

参加者数 **100名参加**
エントリーコース・テックキャリアコースの合計



テックキャリアコース修了30名、合計36件のインターンシップを獲得*

主要インターン・企業プログラム合格実績

アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社、株式会社クイック、グーグル合同会社、Sky株式会社、株式会社セールスフォース・ジャパン、株式会社日本総合研究所、日本電気株式会社、東日本電信電話株式会社、富士通株式会社、株式会社メルカリなど

*2024年7月現在



プログラミングやコンピュータサイエンスの講義もクオリティが高く、**知的好奇心が掻き立てられ、IT系も面白い**と思えた

自分を見つめ直す時間を与えてくれ、自分の**キャリアも視野に入れて**学ぶようになったことで身の入り方がまた変わった

参加者の感想

参加する前と比べたら、**とても成長した!と自負**できる

一人で黙々と学習するのではなく、**講師・メンター・College生と交流する機会がたくさん**あり、協力しながらやるのが楽しかった。仲間がいなかったら続けられなかったと思う

心理的安全性を保ちつつ、**しっかりと実力がつく**。このような素晴らしい環境はどこにもない

同じ志をもった方たちと触れ合え、たくさんの刺激や経験があった

2023年度のプログラム総括

- エントリーコース**：前年度は約3ヶ月かけて実施したプログラムを2週間に短縮して実施しました。期間を短くすることで、集中的な学習と深い理解を促進しました。
- テックキャリアコース**：前年度にはなかったコンピュータサイエンスの講義を取り入れるとともに、グループで課題に取り組むプロジェクトワークを複数回実施しました。その結果、学生が自主的に取り組む「部活」が複数生まれ、外部のハッカソンやインターンに挑戦する学生が増加する効果が得られました。
- 麗澤大学外国語学部の小田理代准教授（教育学）にご協力いただき、プログラムの有用性を向上させるための研究を行っています。

参加者 インタビュー #1

Unlock women's potential and
make an impact in the world
together with them

INTERVIEWEE 1

Chihiro Matsuura 松浦 千尋さん



秋田県在住。Technovation Girls 2024 に初参加し、日本公式ピッチイベントのファイナリストに選ばれた。食物アレルギーに対する理解を深めるためのアプリ開発に取り組み、将来はデザインとアートを融合させて社会課題に取り組みたいと考えている。

—Technovation Girls(以下TG)に参加したきっかけは?

両親の勧めがきっかけです。小学校3年生からコンピュータに触れる機会があり、実際にアプリを作ってみたくて思っていました。また、海外への憧れから、TGが米国で開催されると聞いて挑戦しました。

—参加してみてどうでしたか?

プログラミング開発講座は難しかったです。これまで触れたことのない言語を学ぶことになり、ツールもすべて英語だったので大変でした。ビジネスプランの作成も初めての経験で、財務計画を立てるのは難しかったです。でも、英語でのピッチ動画やビジネスプランなど提出物を期限までに完成させたことは自信につながりました。みんなの工夫と努力が報われたと感じています。

私たちのチームは4人で開発しました。メンバー同士が連絡を取り合い、とくにスケジュール管理に気を配りました。チームで取り組むことで新しい視点を得られ、自分だけではできないことにも挑戦できたのが良かったです。また、大きな会場で発表する貴重な経験ができて嬉しかったです。

—TGで開発したアプリについて教えてください。

食物アレルギーに関する料理ゲームアプリです。アレルギーの理解を促進するため、アレルギーを持つ人と持たない人の両方が楽しめるように設計しました。私自身も卵アレルギーを持っており、アレルギーに理解が得られないことがあると感じていました。このアプリを通じて、アレルギー事故を減らしたいと考えました。

アプリの中でユーザーはシェフとして、さまざまなアレルギーを持つお客さんに料理を提供します。正確なアレルギー対応ができればミッションクリアとなり、割引クーポンを獲得でき、それを実際の飲食店で利用できるシステムです。

—特に工夫した点は?

私は主にUI(ユーザーインターフェース)の設計・実装を担当しました。子どもでも利用しやすいように色や文字を工夫して、利用者目線で考えました。最初は日本語で開発していましたが、世界中の人が利用できるように英語版も作成しました。

—今後はどのようなことにチャレンジしていきたいですか?

デザインが得意でイラストを描くのが好きです。最近では画像生成AIの問題にも興味を持っています。デザインとAIを融合した新しいアプリを開発してみたいです。アレルギーも、デザインもですが、自身の経験を活かしたさまざまなアプリの開発に挑戦していきたいです。来年もTGに参加して、今度こそは賞を目指したいと思っています。

将来は、TGでUIを担当したことで、デザイナーになりたいという思いがさらに強まりました。スプツニ子!さんの話を聞いて、プログラミングとデザインを融合させたり、テクノロジーを活用して社会的な課題に取り組んだりしたいと思いました!

—ありがとうございました。



ハイラボ(秋田県五城目町)にて、プログラミングやデザインに打ち込んでいる様子。

参加者 インタビュー #2

Unlock women's potential and
make an impact in the world
together with them

INTERVIEWEE 2

Sumire Inoue 井ノ上 すみれさん



お茶の水女子大学生活科学部に在学中。大学1年次にWaffle College(以下College)の1期生として参加。修了後はWaffleでインターンを経験。現在はTechnovation Girlsの運営にも関わっている。企業のITエンジニア職のインターンシップに挑戦し、今夏からは南米の企業でインターンシップも予定している。将来はバックエンドエンジニアを目指している。

—Waffleのプログラムに参加したきっかけを教えてください。

大学1年の春に、大学の先生の紹介でCollegeに参加しました。文系で、大学ではジェンダー・セクシュアリティ学を専攻しています。最初は社会に出るにあたって、何か強みを身につけたいと思いCollegeに参加しました。そこで、ITエンジニアの仕事の魅力や柔軟な働き方に触れ、自分に向いていると感じました。ITを通じて人生の選択肢が広がることに気づき、ますますITに興味を持つようになりました。Collegeのおかげで、ITのイメージが大きく変わりました。

—Waffle Collegeのプログラムは実際にどうでしたか?

大学の勉強やアルバイトなどとの両立は大変でしたが、自分が挑戦したいことを諦めずに取り組む姿勢を大切にしました。続けることができたのは、Collegeに集まった同期たちの存在も大きいです。オンラインで全国各地から参加しているため、多様なバックグラウンドや専門知識に触れることができ、刺激的でした。

おそらく文系出身の私の周りにはいないような、年齢が近くて社会で活躍しているITエンジニアのロールモデルに出会えたことも良かったです。文系だとそういったネットワークがありませんので、自分の思い描く将来が、決して無理ではないんだなと思えるようになりました。

—井ノ上さんにとって、Waffleとはどのような存在ですか?

ITの世界を教えてくれたことへの感謝や、素敵なロールモデルがたくさんいるコミュニティです。Collegeの1期生の中には、すでにエンジニアとして社会で活躍している人たちもいるので、最近はいろいろと話を聞いて刺激を受けています。

私にとってWaffleは、技術力を磨く場所であり、同じ志を持った仲間と出会えるコミュニティです。私がWaffleで学んだことやエンパワーメントされたことを、今後は少しでも還元できたらと考えて、Waffleの中高生向けのプログラムでインターンもしています。

—今後はどのようなことにチャレンジしていきたいですか?

現在はバックエンドエンジニアを目指して、企業でのインターンに参加しています。これから、自分に関わっている製品がローンチされるので、楽しみにしています。ITと他の分野を融合させて、何か新しい価値を創造し、社会に貢献していくことが目標です。

—これからの後輩たちにメッセージがあれば、教えてください。

新しいことにチャレンジすることは、少しでも気になったら試してみる価値があります。私も最初はITに強い興味があったわけでは無いのですが、Collegeでの経験を通じて新しい可能性を見出しました。ぜひ一歩を踏み出してみたいと思います。

—ありがとうございました。



大学外でも外部のハッカソンへ参加するなど、積極的に課外活動に取り組んでいる。

政策提言

政策提言への取り組み

Waffleは、2019年の設立以来、IT分野のジェンダーギャップの解消に向けて教育事業のみならず、政策提言にも力を入れて活動してきました。ジェンダーギャップは、制度面や構造上の課題も多く、抜本的な解決のためには社会構造の変革が必要不可欠であるという考えのもと、教育事業から得られた知見を政府に提言しています。

私たちが政策提言をする中で注力しているのは、「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）」です。この方針は、各省庁の予算編成に向けた基本的な考え方や政府として注力する政策の方向性が示されているもので、毎年6月ごろに閣議決定されます。Waffleでは事業から得られた知見や課題を元に、関連省庁と対策案やとりうる手段をディスカッションしています。これまで、2021年度から連続で女子中高生・高専生・大学生がIT分野の学びや分野選択を促進することが骨太の方針に盛り込まれています。これらの活動が、近年、積極的な動きをみせる高等教育機関等における理工系女子枠の新設、女性教員の登用などにも、寄与してきたと考えています。

背景・提言内容

Waffleが全国で教育プログラムを展開していく中で、地方自治体等から「取り組みを広く展開するためには、地域で産学官の連携を強化する必要がある」という多くの声が寄せられていました。Waffleがこれまで活動してきた地域でも、産業界、教育関係者、行政、すべての力を合わせることで、より大勢の生徒に周知・機会の提供をすることができており、取り組みを継続にもつながっています。そのため、2023年度は、地方で多様なステークホルダーによる取り組みを加速させることを意識した提言を行いました。

加えて、女性研究者の上位職への登用については、IT/STEM分野のロールモデルを見ることが当該分野を進路として選択する女子が増え、女性比率の向上につながることで活動よりわかってきたことから、政府への提言に盛り込みました。



Waffle Campにてウェブサイト制作に取り組む参加者たち。

成果

成果1

「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）2023」への記載

「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）2023」の19ページに以下が記載されました。2021年から3年連続で女子中高生向けの取り組みが盛り込まれました。

「IT分野を始め理工系分野の大学・高専生、教員等に占める女性の割合向上に向け、女子中高生の同分野の学びや分野選択の促進など産学官連携で地域一体となった取組等を加速するとともに、大学の上位職への女性研究者登用を促進する取組を強化する。」

[経済財政運営と改革の基本方針2023について]
https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/cabinet/honebuto/2023/2023_basicpolicies_ja.pdf



成果2

関連事業の予算が20%増額

国立研究開発法人科学技術振興機構が実施する「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」の予算が60百万円（2023年度）から72百万円（2024年度）に増額されました。

Waffleをサポートしてくださる 企業からのメッセージ

サポーター企業 1

レノボ・ジャパン合同会社

<https://www.lenovo.com/jp/ja/>



柳沼 綾 様

コンシューマ事業本部
営業戦略部 本部長

レノボ・ジャパン合同会社は、国際女性デーに関するイベントの共同企画や、女子学生向けキャリアセミナーなど、Waffleの活動をさまざまな面からご支援いただいています。

“S” marker Technology for all”を目指して、学生向けプログラミングソフトウェア開発や利活用促進に注力を始めた時期に、ITを軸としジェンダーギャップの解消を目指すWaffle様と出会いました。日本の女子学生たちの実情を深く憂い、変革を進めようとする姿勢に深く共鳴し、Technovation Girls、共同企画による女子学生向けキャリアセミナーや国際女性デーイベントなどで一緒に過ごしてきました。

特に、Technovation Girls2024は47都道府県すべてから参加者が集まり、全国規模の機運の高まりを感じています。5年ほど前に私自身が学生の方から多くの学びとパワーを得たメンターの経験から、Waffle様の活動への社員のボランティア参加を積極的に推進しています。Waffle様の活動を経て女子学生の進路の選択肢が広がり、さらにIT業界における人材の多様化が進むことを願っています。

サポーター企業 2

株式会社ヌーラボ

<https://nulab.com/ja/>



橋本 正徳 様

代表取締役

オンラインコラボレーションツールを開発・提供する株式会社ヌーラボは、2023年より年間パートナーとしてご支援いただき、福岡本社にてWaffle Camp ホームタウンも開催させていただきました。

“ヌ” ラボは、NPO法人Waffleの活動を応援しています。現在の日本では、プログラマーやシステムエンジニアなどのIT技術者に占める女性比率が22%*と未だ低い水準です。年々上昇傾向にあるそうですが、実際に女性ITエンジニアとお会いする機会はまだまだ少なく、一緒に働きたいと思っても採用するのも困難な状況です。この背景の一つには、そもそも情報工学を学ぶ女性が増えないことがあります。ヌーラボは、これらの課題に率先してアプローチしているWaffleの取り組みに賛同し、活動に協力してきました。

女子中高生限定コーディングワークショップ「Waffle Camp ホームタウン in 福岡市」の開催や、当社の女性エンジニアも登壇した「ITエンジニアの女性によるトークセッション」等も行っています。若いうちから女性にITエンジニアのキャリアとしての楽しさ、可能性を広く知っていただくことが重要だと考えています。今後もWaffleと活動を共にし、女性ITエンジニアが活躍できる社会の実現にむけて、微力ながら貢献したいと考えています。

*出典：情報サービス産業協会、2023年版 情報サービス産業 基本統計調査

メディア掲載・登壇・受賞

【主要メディア掲載】

- 2023年4月11日 Business Insider「『わたし×IT＝最強説』現役の理系女子大学生が薦める、女性エンジニアへの手引き書」
- 2023年4月11日 TBSラジオ「アシタノカレッジ」
- 2024年4月14日 フジテレビ「Live News α」
- 2023年4月30日 J-WAVE「ARROWS」
- 2023年5月19日 MASHING UPMASHING UP「ITへの敷居を低く。Waffleが10代に向けた本の中で伝えたいこと」
- 2023年6月24日 NHK総合「サタデーウオッチ9」
- 2023年6月8日 日本経済新聞「STEM もっと女性の仕事に 大学や企業『面白さ伝えたい』」
- 2023年6月6日 FNNプライムオンライン「全国から女子中高生らが渋谷に集結。社会課題をアプリで解決する！」
- 2023年7月5日 朝日新聞デジタル「女子は理数系が苦手」はホント？ 根強い偏見、世界と比べると…」
- 2023年12月5日 読売新聞「[#30代の挑戦] 田中沙弥果さん ITの男女格差 なくしたい」
- 2024年1月29日 Forbes JAPAN「リーダー 『100人会議』」
- 2024年2月28日 NWEC実践研究 第14号 デジタル技術とジェンダー平等国立女性教育会館のレポート「NWEC 実践研究 第14号」
- 2024年3月8日 Apple App Store Today「国際女性デー 女子生徒に無料でIT教育を」
- 2024年3月8日 朝日新聞「だから私は理系を選んだ 突然の理転、嚙下を追究…20代2人に聞く」
- 2024年3月11日 朝日新聞Edu「IT分野に女性が少ないのは『意識の問題』ではない 女子が能力を発揮し、自分で進路を選択できるようになるには」

総掲載数

Web:37件、新聞:23件、雑誌:20件、ラジオ:2件、テレビ2件 ※詳細は、<https://waffle-waffle.org/media/> をご覧ください。

【登壇・講演】

- 2023年5月10日 日経こども未来経済フォーラム パネルディスカッション (理事長 田中登壇)
- 2023年6月2日 内閣府「連携会議オンラインフォーラム」(理事長 田中登壇)
- 2023年6月23日 清泉女子大学 授業「専門事例：地球市民と人的資源」(ディレクター 森田登壇)
- 2023年6月14日 吉祥女子中学・高等学校 講演文化人講演会 (理事長 田中登壇)
- 2023年7月3日 富士通・お茶の水女子大学 AI倫理社会連携講座 (ディレクター 森田登壇)
- 2023年7月15日 青森県主催「あおり×女性 ライフ&キャリアセミナー」(理事長 田中登壇)
- 2023年7月23日 西宮市・西宮市大学交流協議会共催 講演 (理事長 田中登壇)
- 2023年7月29日 鹿児島県男女共同参画センター 講演 (理事長 田中登壇)
- 2023年8月5日 京都女子大学 データサイエンス学部 オープンセミナー (理事長 田中登壇)
- 2023年8月29日 日本ロレアル「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」パネルディスカッション (理事長 田中登壇)
- 2023年11月27日 bgrass主催「IT業界のジェンダーギャップを考えよう！」パネルディスカッション (理事長 田中登壇)
- 2023年11月28日 #YourChoiceProject 設立2周年記念イベント パネルディスカッション (理事長 田中登壇)
- 2023年12月2日 みんなのコード「未来の学校教育を考える円卓会議」ワークショップ (理事長 田中登壇)
- 2023年12月6日 日経こども未来経済フォーラム パネルディスカッション (理事長 田中登壇)
- 2023年12月13日 津田塾大学講演 (ディレクター 森田登壇)
- 2023年2月5日 JobRainbow主催「D&I AWARD 2023」パネルディスカッション (理事長 田中登壇)
- 2023年3月8日 W20ジャパン・笹川平和財団共催「デジタルとジェンダー」(理事長 田中登壇)
- 2023年3月21日 LVMH Beauty・スリール共催「働く女性600名の声から考えるウェビナー」(理事長 田中登壇)
- 2023年3月22日 国立高等専門学校機構高専機構 ダイバーシティ推進意識啓発講演会 (ディレクター 森田登壇)

【受賞】

2023年11月 Veuve Clicquot Bold Woman Award 2023 ファイナリスト選出
グーヴ・クリコが革新的な女性リーダーに光をあてるアワードで、次世代の女性リーダーに贈られるBold Future Awardのファイナリストに選出されました。

支援企業・団体

日頃より、Waffleの活動をご支援いただいている企業・団体の皆さまに、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。
一部となりますが、ご支援をいただいた企業・団体の皆さまをご紹介します(順不同)。

【パートナー企業・団体】

- | | | |
|--------------------|------------------------|-----------------------|
| メットライフ生命保険会社 | 公益財団法人みらいRITA | レノボ・ジャパン合同会社 |
| アメリカ大使館 | デロイト トーマツ グループ合同会社 | ソニーグループ株式会社 |
| 株式会社日本総合研究所 | EDOCODE 株式会社 | LINEヤフー株式会社 |
| サイボウズ株式会社 | TokyoDev Inc. | ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン株式会社 |
| 株式会社セールスフォース・ジャパン | アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 | 株式会社サイバーエージェント |
| 株式会社ヌーラボ | テクノプロ・ホールディングス株式会社 | 株式会社ラクス |
| Skyscanner Limited | KOA 株式会社 | タカノ株式会社 |
| 株式会社ヤマウラ | 株式会社Jストリーム | 合同会社 esa |
| Dropbox Japan 株式会社 | 株式会社PR TIMES | |

【協力企業・団体】

- 一般社団法人 Women's Startup Lab Impact Foundation Japan
- 公益財団法人山田進太郎 D&I 財団
- 全国高校生マイプロジェクトアワード事務局
- 特定非営利活動法人みんなのコード
- ライフイズテック株式会社
- 公益社団法人 ガールスカウト日本連盟

【企業の皆さま】

各種プログラムへの資金面でのご支援の他、パソコンやプログラム教材の無償貸与、イベント会場の提供、デザインなどのスキル提供など、さまざまな形でご支援いただいています。詳細は、パートナー窓口 (partner@waffle-waffle.org) までお問い合わせください。

＼多様な支援方法のご紹介／

株式会社Jストリーム

動画配信・動画関連ソリューションを提供する株式会社Jストリームには、Waffle Campの動画制作をご支援いただきました。実際の参加者の生の声や、大学生の講師/TAを含む運営側の想いやメッセージなども含め、動画にさせていただきました。



制作いただいた動画はこちらからご覧いただけます



株式会社ヌーラボ

オンラインコラボレーションツールを開発・提供する株式会社ヌーラボには、プロジェクト管理・タスク管理ツールの「Backlog」の提供に加え、Waffle Camp開催時の会場の貸し出しや社員の方のキャリアトークなどをご支援いただきました。



アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社

アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社には、Amazon 品川オフィスでの高校生・大学生を対象にしたIoTデバイスを使ったプログラミングワークショップ「Cloud Camp for Builders」を開催いただきました。会場の提供から教材の準備、講師など、幅広いご協力をいただきました。



\ IT分野のジェンダーギャップの解消をともに目指す /

Waffleへのご支援について

日本中で女子およびノンバイナリーのテックリーダーを育成するWaffleの活動は、皆さまからのあたたかいご支援によって支えられています。ぜひ、継続的なご支援を賜れば幸いです。

[個人の皆さま]

非営利団体に特化した寄付プラットフォーム「Syncable (シンカブル)」を通じて、寄付いただけます (銀行振込・クレジットカード)。毎月定額の寄付でご支援いただける継続サポートと、好きな金額と回数を選べる単発サポートの2種類があります。いただいた寄付は、プログラミングに取り組むための環境が不足している中高生へのパソコンやWiFi端末の貸し出し、教材の改善などの費用に活用させていただきます。



[Syncable: NPO法人Waffleページ]

<https://syncable.biz/associate/555>

毎年、Waffleは独立した第三者機関による監査を受け、寄付金が適切に管理されていることを確認しています。皆さまからいただいた寄付は、効果的かつ効率的に活用し、IT分野のジェンダーギャップ解消に向けて活動してまいります。

[団体概要]

住 所 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-5 リンクススクエア新宿16階

代表者 理事長 田中沙弥果

お問い合わせ先 info@waffle-waffle.org

公式ウェブサイト <https://waffle-waffle.org/>



Instagram

@waffle_org



X

@Waffle_org



Facebook

@Waffle.org



LinkedIn

Waffle NPO

